

平成30年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

注意事項

1. 受験番号を、解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は、120分である。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。

問 題

- 1 次の文章1～15は、美術に関する基礎的なことがらを述べたものである。
正しいものに○を、間違っているものには×を、解答用紙 1 の解答欄に記入しなさい。(30点)

- 1 デジタル画像で用いられる色の再現方式「RGB (カラーモデル)」において、RGB 全ての値が「0」であるとは、すなわち「白」であることを表す。
- 2 「絵画が、軍馬や裸婦や何らかの逸話である以前に、本質的に、ある順序で集められた色彩で覆われた平坦な表面であることを、思い起こすべきである」とは、ナビ派の主導者ピエト・モンドリアンの言葉である。
- 3 カンディンスキーは抽象絵画の先駆者として有名だが、完全抽象はマレーヴィチが先行していた。
- 4 ジャコモッティは作品制作のとき、モデルを用いることは無かった。
- 5 ジャン・デュビュッフェは、精神疾患患者など美術の正規教育を受けていない人々が創作した芸術をアール・ブリュットと名付けた。
- 6 狩野永徳の「檜図」は、今は屏風だが、もとは襖絵であった。
- 7 アルチンボルドは果物、野菜、動植物、本などを寄せ集めた珍奇な肖像画で有名だが、同じような寄せ絵「みかけハコハゐがとんだいゝ人だ」を歌川国芳が残している。
- 8 荻原守衛(礫山)は、ロダンの「考える人」を見て衝撃を受け、彫刻家を志した。
- 9 マルセル・デュシャンはレディメイドという新しいコンセプトを提示し、その後の20世紀美術に大きな影響を与えた。
- 10 「ダグレオタイプ」と「カロタイプ」はともに「写真の誕生」と言われる発明であるが、ネガーポジ方式によって同一イメージを何枚でも複製できたのは「ダグレオタイプ」である。
- 11 マン・レイが考案した「レイヨグラフ」は、カメラを用いない実験的な写真技法であり、ラスロー・モホイ＝ナジによる「フォトグラム」と同じものである。
- 12 壺屋焼は、知花、涌田、宝口の各窯場を日本政府が統合して誕生した。
- 13 大らかな文様と南国的な鮮やかな色彩が特徴的な紅型は、庶民のための染物として発展し、18世紀中頃には現在の技法がほぼ確立された。

- 1 4 社会風刺的なグラフィティアートで知られるバンクシーは、ステンシル技法を用いて制作している。
- 1 5 フランク・ゲーリー設計による斬新な建築で有名な「ビルバオ・グッゲンハイム美術館」は、文化・観光事業による都市・地域再生の成功例として知られている。

2 次のY氏の日記を読み、下の間に答えなさい。(270点)

8月2日(水) 快晴

面白い話を偶然耳にした。大阪にある天王寺動物園というところには不思議な「覗き穴」があるそうだ。

その「覗き穴」は、動物園でのお決まりの遊興だけでなく、予想していなかった出会いへと誘う「穴」になっているらしい。もしかしたら、マイナーで人気のない動物にもスポットが当たったり、お目当てとは違う場所に熱い視線を向けてしまうような「穴」なのか。

それとも、もっと奇妙な「穴」なのか。妙にワクワクするじゃないか。

そう言えば、「覗き穴」と言えば…。

(Y氏の日記より抜粋)

問 ^{のぞ}「覗き穴」をテーマに、子どもたちと行う創造的なアート活動を提案しなさい。

注意事項

1. 活動場所は自由に設定してよいが、どのような場所なのか必ず記述すること。
2. 対象学年・年齢は自由に設定してよい。
3. アート活動の案は幾つ回答してもよい。
4. 絵や図を描いて説明を補ってもよい。
5. 解答用紙 2 は罫線の有るものと無いものがあるので、自由に使用してよい。
字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No.欄に通し番号を記入すること。

平成30年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

1 の「正答」

1 - ×, 2 - ×, 3 - ○, 4 - ×, 5 - ○,
6 - ○, 7 - ○, 8 - ○, 9 - ○, 10 - ×,
11 - ○, 12 - ×, 13 - ×, 14 - ○, 15 - ○,

2 の「出題の意図」

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていききたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育に関わりたい人」を求めており、その中でも、特に美術教育での適性を見るために、筆記試験においては「鑑賞力や知識、造形教育への関心度及び発想力」を見ることにしている。

本問は、架空の日記を手掛かりに「覗き穴」をテーマにしたアート活動を提案する問題である。「覗き穴」を覗き込むという行為に内包された「期待感」「好奇心」「見え方の変容」などを想像力豊かに捉え、柔軟な発想でアートプログラムを構想することができるか、また活動場所についても、多様な表現活動と連動するような創造的な「見方・感じ方（鑑賞）」を探ることができるかを見る。単なる仕掛け遊びとしての「覗き穴」だけでなく、「場の認識」や「世界の見え方」が大きく変容するような活動として造形教育にも接続させ創出できるか、その思考を通して「鑑賞力や知識、造形教育への関心度及び発想力」を見る。